

# 市民意見公募手続の実施結果

事案番号 12411

所管課名 保健体育課

実施事案名 松山市の地域クラブ活動の在り方等に関する方針(案)及び松山市立中学校部活動地域移行推進計画(案)

意見提出期間 R6.12.2 ~ R7.1.10 31日間

●意見の提出の有無  有  無

●意見の提出件数  
 個人: 4件 (1)人 【件数内訳】 持参: 0 郵送: 0 Fax: 0 電子メール: 4 その他: 0  
 団体: 4件 (1)人 【件数内訳】 持参: 0 郵送: 0 Fax: 0 電子メール: 4 その他: 0  
 合計: 8件 (2)人 【件数内訳】 持参: 0 郵送: 0 Fax: 0 電子メール: 8 その他: 0

●意見の反映件数 1件 / 8件

## ★提出のあった意見の概要及びそれに対する市の考え方等

意見の概要	意見に対する市の考え方	政策等の案の修正内容
◆類似意見の集約 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※集約意見数 (0)件 <松山市の地域クラブ活動の在り方等に関する方針(案)について> 部活動が地域移行していく段階では、どういった団体が大会等に参加できるのかわかりづらい現状がある。	◆政策等の案への反映結果 <input type="checkbox"/> 反映 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし 方針(案)のⅢの1(10頁)で、「生徒の大会等の参加機会の確保」を目指すことになっており、大会等の主催者は、大会等の在り方の見直しを行っていきます。具体的には、大会参加資格を学校単位に限定することなく、地域クラブ活動や複数校合同チームの会員等も参加できるように見直しを検討します。その際、市は方針に沿った大会となるよう連携していきます。	反映なし
◆類似意見の集約 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※集約意見数 (0)件 <松山市の地域クラブ活動の在り方等に関する方針(案)について> 部活動と地域クラブ活動が併存する場合、部活動顧問と地域クラブ指導者の協力体制が構築できるか心配である。	◆政策等の案への反映結果 <input type="checkbox"/> 反映 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし 方針(案)で、地域クラブ活動と学校部活動の間では、運営団体・実施主体や指導者が異なるため、市は地域クラブ活動の運営団体・実施主体の取組状況を適宜把握し、必要な指導助言を行い、活動方針や活動状況、スケジュール等の共通理解を図るとともに、関係者が日々の生徒の活動状況に関する情報共有等を綿密に行うようにします。	反映なし
◆類似意見の集約 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※集約意見数 (0)件 <松山市の地域クラブ活動の在り方等に関する方針(案)について> 子どもがスポーツを継続していくためには、部活動というかたちにこだわらず、地域において幅広く施設の開放、充実が必要だと考える。	◆政策等の案への反映結果 <input type="checkbox"/> 反映 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし 方針(案)の2(6)(5頁)の「活動場所」のとおり、市は、地域クラブ活動を行う団体に対して、公共のスポーツ・文化施設や社会教育施設、地域団体・民間事業者等が有する施設だけでなく、地域の中学校をはじめとして小学校なども対象として、利用しやすい環境づくりに努めます。	反映なし
◆類似意見の集約 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※集約意見数 (0)件 <松山市立中学校部活動地域移行推進計画(案)について> 松山市では、地域移行に携わる指導者が圧倒的に足りない気がする。指導したい方たちに情報が届いていないのではないかと。	◆政策等の案への反映結果 <input checked="" type="checkbox"/> 反映 <input type="checkbox"/> 反映なし 計画(案)で、日本スポーツ協会の「公認スポーツ指導者マッチング」や愛媛県生涯学習センターの「えひめマナビイ人材データバンク」を活用するとともに、指導を希望する方の人材データバンクへの登録の推奨や市内4大学との連携協力など、指導者の配置支援策について取り組むこととしています。ご意見を踏まえ、積極的な情報発信について記載しました。	計画(案)の3(2)(7頁)新たな地域クラブ活動 4つ目の丸「指導者の配置支援策について取り組む。」を、「指導を希望する方に情報が届くように積極的に周知広報活動を行い、指導者の配置支援を行う。」に修正します。

意見の概要	意見に対する市の考え方	政策等の案の修正内容
<p>◆類似意見の集約 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※集約意見数 (0) 件</p> <p>&lt;松山市の地域クラブ活動の在り方等に関する方針(案)について&gt;</p> <p>「1の2(5)適切な休養日等の設定 ウ 1日の活動時間は、『生徒の心身の成長に配慮して』長くても平日では2時間程度、学校の休養日は原則として3時間程度」について、これは合理的で納得できる。しかし、現在もこれまでも、「部活動の終了時刻」は日没に合わせており、秋から冬にかけては完全下校が17時となるため、実質30分程度の活動も難しいという状況は変わっていない。そのため、ウォーミングアップもクーリングダウンもしないで活動している状態であり、「生徒の心身の成長への配慮」など行いようがない。そのために学校での部活動や地域クラブを選択せず、一般のクラブチームを選ぶ生徒や保護者がいて、部活動への入部減少にも影響しているものと思われる。こういったスポーツ活動として不合理なままの部分を望ましい形に改善する機会にできないものだろうか。</p>	<p>◆政策等の案への反映結果 <input type="checkbox"/> 反映 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</p> <p>地域クラブ活動で、生徒の志向や体力等の状況に応じて適切な活動時間とする必要があることから、方針(案)で1日の活動時間を設定しているものです。地域クラブ活動の運営団体・実施主体で、学校部活動とも連携・調整しながら、生徒の心身の成長に配慮して、健康に生活が送れるような活動時間を設定するようにします。</p> <p>部活動は学校で行うため、生徒指導上活動の終了時刻を完全下校の時間に合わせますが、地域クラブ活動は、照明のある施設などを活用することで、活動時間の設定の範囲内で、日没の時間に関わらず活動することができます。</p>	<p>反映なし</p>
<p>◆類似意見の集約 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※集約意見数 (0) 件</p> <p>&lt;松山市の地域クラブ活動の在り方等に関する方針(案)について&gt;</p> <p>「1の2(7)会費の適切な設定と保護者への負担軽減 イ 市は、…地元の企業等の協力を…負担軽減に資する取組等を…」について、私の関わっている地域クラブは現在松山市との委託契約により地域指導者への謝金を支払うことができている、大変ありがたい。謝金は「指導者の利益」ではなく、「指導者の責任の根拠」という意味で大変重要なことと考えており、委託契約終了後は受益者負担にしていくべきであろう。しかし、そのために負担増になりかねないので、企業等に協賛金協力を受ける必要があると考える。本記載には、施設や用具等の支援については記載されているが、協賛金については書かれていない。それは意図的なのだろうか。また、「負担軽減」については、地域クラブに対する施設利用の減免等を前向きに検討していただきたい。「暑さ指数高」等での活動停止も多く、施設のナイター使用についても同様である。</p>	<p>◆政策等の案への反映結果 <input type="checkbox"/> 反映 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</p> <p>方針(案)では、市が企業等と協力して構築する体制整備について記載しています。1の2(7)ア(6頁)にありますように、地域クラブ活動の運営団体・実施主体が、可能な限り低廉な会費を設定するために、1の2(7)イのとおり、地元の企業等の協力を得て、様々な取組を行うことは可能です。また、施設利用の減免等は、他の一般利用者との公平性も含めて、今後検討したいと考えています。</p>	<p>反映なし</p>
<p>◆類似意見の集約 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※集約意見数 (0) 件</p> <p>&lt;松山市の地域クラブ活動の在り方等に関する方針(案)について&gt;</p> <p>「Ⅲの1ア大会参加資格を学校単位に限定することなく…大会等の見直しを行う。」について、それは今の中体連主催の総体や新人大会への合同チームや拠点校方式の趣旨を越えて、複数の校区にまたがる地域クラブ活動の参加も認める方向なのであろうか。そしてそれは、中体連との調整が進んでいるということであらうか。今松山市と委託契約して実証研修をしている地域クラブは、学校部活動同様、1つの校区での生徒を対象にしているのだが、改革推進期間が終了した令和8年度以降に、積極的に校区を越えた活動を進めた場合、中学校は学校のグラウンド使用をこれまでどおり使わせてくれるのだろうか。</p>	<p>◆政策等の案への反映結果 <input type="checkbox"/> 反映 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</p> <p>方針(案)1の2(6)(5頁)の「活動場所」とおり、地域クラブ活動を行う団体は、公共のスポーツ・文化施設や社会教育施設、地域団体・民間事業者等が有する施設だけでなく、地域の中学校をはじめとして、小学校なども活用することになっています。また、市は、地域クラブ活動を行う団体が利用しやすい環境づくりに努めます。</p>	<p>反映なし</p>

意見の概要	意見に対する市の考え方	政策等の案の修正内容
<p>◆類似意見の集約 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※集約意見数 (0)件</p> <p>&lt;松山市立中学校部活動地域移行推進計画(案)について&gt;</p> <p>「4スケジュール」について、令和5年度から7年度までを改革推進期間としているが、その2年目が終わりに近づき、残り1年になろうとしている。そんな時期がきているのに、「改革推進期間が終わると、8年度からは何がかわるのか、何をかわるのか」という「スケジュール」が全く見えないままである。</p> <p>① 8年度からは松山市(国、県)からの委託金はなくなり、地域クラブで何とかせよということになるのか。</p> <p>② 改革推進期間は、松山市からの委託金で(1年を通じてはなかったが)「地域クラブの指導員に対して謝金を払う」ことができた。「それが望ましい、それがあるべき地域クラブの姿」との考え方であろうと思うし、賛同できる。それを8年度からは、保護者の会費や協賛金等で賄いなさいということになるのか。</p> <p>③ 8年度からは「土日については、すべての部活動を地域クラブ活動にする」のか。また、そのために「教職員への土日の部活動手当を廃止する」のか。そこが明確にならないと、各学校現場や地域は動き始めない。今「推進計画」に必要なのは、7年度までの予定ではなく、8年度以降の方向性やスケジュールである。それを7年度の早い段階で周知すれば、各学校でも地域でも、「それでも土日の各部の活動を存続させる、させたい部」と「平日のみの活動とする部」について検討し始める。その方向性やスケジュールが不明確なままで7年度を迎えると、各学校や校区での、8年度に向けての部活動の地域連携・地域移行はほとんど変わらないままであろう。「いつから」「何が」「どう変わるのか」が不明確なままである。</p>	<p>◆政策等の案への反映結果 <input type="checkbox"/> 反映 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</p> <p>現在、国は令和8年度以降の部活動の地域移行を見据えて有識者を立ち上げてガイドラインの見直しについて検討しており、その中で、「次期の改革期間について」、「平日の部活動改革の取扱いについて」や「今後の支援の在り方」について議論されています。本市も、その議論を踏まえて示される次期ガイドラインが発出されましたら、それにあわせて推進計画の改訂を検討したいと考えています。</p>	<p>反映なし</p>

★政策等の案の公表後、実施機関が自らの判断で修正した内容

修正内容		修正理由
修正前	修正後	
<p style="text-align: center;">該当なし</p>	<p style="text-align: center;">⇒</p>	